



現場監督 **川上 啓志さん**
 ▶入社15年目
 ▶家族構成/妻、子(2男1女)
 [小学生2人、園児1人]

子育てに対する理解があり、突発的な用事にも素早く対応してくれます。

保育園からの急な呼び出しや学校の行事などで、どうしても休まないといけない時でも快く休ませてもらえるのは非常に助かっています。

会社の中に、子育て経験者や子育て中の方が多くいるので、理解を得やすいというのがありますが、急な用事の時に備えフォローし合える体制が確立していることや、部署や現場単位で社員の休みや早退などを一任してくれているのが大きいです。そういった職場なので、妻にも家事の協力ができますし、学校行事や子どものサッカーの応援にも積極的に参加できます。今は、コンクリート診断士の資格取得に向け頑張っています。当社は資格取得も積極的にバックアップしてくれるので勉強、仕事、家庭と充実した日々を過ごしています。

Snapshot



現場では万が一の事故や間違いが無いように入念な打ち合わせが必要。

子どもたちと一緒にスポーツや旅行をするのが楽しみ。



川上さんの近況

現場監督として働いておられる川上さんは、入社後に3人のお子さんに恵まれました。仕事では部長として社内の総括から各現場での業務と忙しい毎日ですが、家庭でもご飯を作ったり、洗濯をしたりと積極的に頑張っておられます。仕事と育児で自分の時間はほぼ無いとのことですが、唯一の癒し(楽しみ)は1日の終わりに子どもの横で一緒に寝る事だそうです。

社員の事情を拾い上げ、会社全体でサポートします。



代表取締役
吉田 友和さん

「仕事に対して前向きに、常に挑戦をしてほしい」これが社員に対する私の願いです。そのために当社では業務に必要な技能や資格取得を全面的にバックアップして、やる気のある社員はさらにステップアップできるような体制を整えています。ただ、仕事の原動力は家庭にあり、家庭に対しても常に前向きに向き合うべきだと思っています。社員の事情に配慮して、常にフォローし合える体制を整え、育児中の社員に対しても会社と社員お互いが歩み寄りながら、勤務時間や休暇の取得などを柔軟に対応しています。

去年は、会社のレクリエーションで、家族連れの社員には子どもに重機を見せてあげたり、砂の重量を当てるゲームなどを行ったりと楽しんでもらいました。今後はこういった家族ぐるみの社内行事にも力を入れていきたいと考えています。家族にも喜んでもらい、それをまた仕事に活かし、建設業として地域に貢献していける、そんな企業を目指していきたいです。

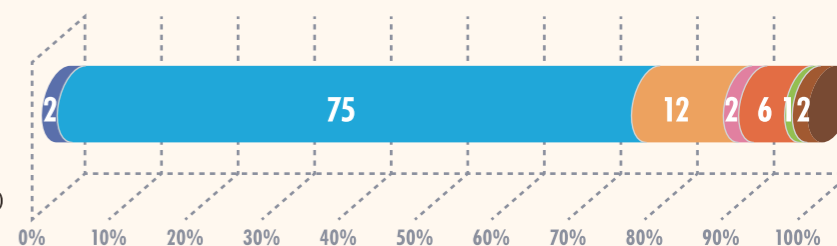


ポイントは「ココ！」

- 1 休暇取得に対し迅速に対応できる
家庭の急用などでの休暇は現場単位で一任している。
- 2 子育て経験者や子育て中の社員が多く理解ある職場
同じ境遇の社員が多いので、子どもを持つ親として仕事がしやすい。
- 3 未来を見据えて技能・資格取得に全面的にサポート
社員のスキルアップを考えて資格取得に関わる費用を全額支給。

川上さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 父(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 夫の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ 監修者 渥美さんのコメント

家族ぐるみの社内行事で、家族の理解を得るとともに、子育てが当たり前の風土になっている。



ケアマネージャー **松本 瞳さん**
 ▶入社1.5年目
 ▶家族構成/夫、子(3女)
 [小学生2人、園児1人]

職場が家庭的で 悩みも相談し合える雰囲気 とっても最高です。

職場では、出勤プラン作成にもみんなで話し合い、希望する日に休みを取ることができ、子育てに大変助かっています。子どもとは、なかなか一緒に時間が取れないけれど、寝る前に3人の子どもとお話したり、ふざけあったりする時が一番幸せ。両親には、子どもの送迎から食事まで面倒を見てもらっており、大変助かっています。また、院長や奥さんが職員に気を配って、明るい雰囲気づくりをしてもらっているので職員間にファミリー感があります。職場のみんなも私が急に休むことになっても嫌な顔一つしないで心配してくれまし、業務に関係することはメモを残してもらえるなど、大変満足しています。自分のスキルを上げたいと思ったら研修に参加させてもらえるので、仕事にも意欲が湧きます。

松本さんの 近況

居宅介護支援のケアマネージャーとして働いている松本さんは、夫婦と3人のお子さんの5人暮らし。仕事は、介護支援の重要な役割であるケアプランを作成し、介護者の生活を支援する大切なお仕事。家事は近くに住んでいる両親に子どもの送迎や食事の準備など大いに助けってもらって感謝しながら仕事と育児を両立しておられます。

Snapshot



明るくアットホームな雰囲気の職場。

寒くても
元気いっぱい
子ども達。



次世代を作る—これもFOL (Fun of life)。



医院長
廣田 裕さん

結婚、子どもを持つことは、本人が“ふつう”のことと思っていればすべしでしょう。次の世代を作る子育ても「FOL (Fun of life)=人生の楽しみ」でしょう。そのためには、職場の職員同士が助け合うことが必要だと思っています。働きながら妊娠、出産、育児をする職員に育児休業や短時間勤務制度も整備しています。今の職員たちは仕事の仲間同士として職員が育児休業・病気休暇を取得すれば他の職員が補って、支えあって働くという意識が高く、本当にありがたいと思っています。職員が妊娠した時には、リーダーに

声をかけて業務の振り分けを自主的に検討しています。出産後には、子どもや旦那さんを病院に連れて来ています。日頃から職員同士が仲良く働き、年齢層も近いものがあり、互いに困ったことや悩んでいることを相談しており、職員間のコミュニケーションは取れていると思います。職員にとっても企業にとっても、やっぱり働きやすい職場環境が一番大切なことだと思います。



※FOL…楽しみまで与えることのできる医療・介護「Fun of life」の略で“人生の楽しみ”という医院長の造語。

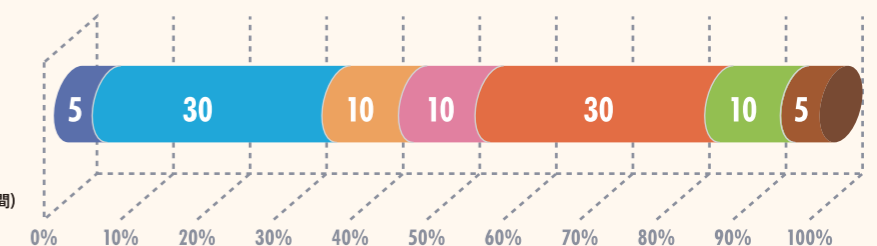
この企業の
子宝率
1.69

ポイントは「ココ！」

- 1 日頃の職員間のコミュニケーションづくり**
仕事、家庭の事も話し合える職場環境があり、仕事の協力体制で子育ての休みがとりやすい。
- 2 育児休業後の復職、短時間勤務制度を整備**
出産、育児休業などの制度を経営側から説明し、子育て中の自由な働き方を支援している。
- 3 教育研修へ自由に参加できる体制**
本人のスキルアップへの支援として、希望する研修への参加ができる体制となっている。

松本さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 母(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 妻の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ
監修者 **渥美さんのコメント**

仕事も子育ても人生の大切な要素で、楽しみという医院長のモットーが素晴らしい。



業務管理部 前田 良二さん

▶入社11年目
▶家族構成/妻、子(4男1女)
[社会人1人、高校生1人、小学生2人、園児1人]

仕事も家庭も学校行事も 全部に100点を目指す 会社です。

仕事は、業務管理部で衛生管理や社員教育訓練の運営・指導・コーチングなどを行っています。教育訓練・資格取得へのサポートが充実しているのは当社の魅力のひとつです。仕事の一番の喜びは、社員が一生懸命勉強をして資格を取得してくれた時でしょうか。仕事以外では、PTA会長として学校活動にも力を入れています。学校行事や会合の場合でも上司の判断ですぐに有給休暇の判子を押ししてくれるので大変感謝しています。仕事とPTA活動で忙しい毎日ですが、特に子どもとの時間を大切にしたいと思っています。一緒にお風呂に入ったり将棋を指したりと楽しみながら子育てをしています。家事に関しては妻も同じように働いているので、積極的に手伝うようにしています。

前田さんの近況

前田さんは妻と5人のお子さんの7人家族。一番上のお子さんは既に独立され、おうちには現在4人のお子さんがおられます。家に帰ると掃除・洗濯をこなしますが、「家事の協力は当たり前、大変とは思わない」とのこと。そんな前田さんは学校行事にも精力的。現在は小学校のPTA会長を務めておられ、忙しい毎日をパワフルに過ごしています。

Snapshot



後輩の資格取得や業務をサポートする為、丁寧にときには厳しく指導します。

学校や家の行事など積極的に参加しています。



「仕事には厳しく、人にはやさしく」家庭にはもっとやさしく。



代表取締役
馬野 慎一郎さん

「仕事には厳しく、人にはやさしく仕事を通じて人間の魅力を高める」というのが社員に対する私の願い。もちろん社員の子育てに対してもやさしい企業でありたいです。

女性社員の産休・育休からの復帰後の配置は、なるべく補佐的な業務から慣らして無理が生じないように考慮しています。また社員同士がカバーし合って休暇を取得しやすいような体制も整えています。子育て中はいろいろな悩みがあると思います。

社内の雰囲気として社員同士で相談し合ったり、妊娠・出産・育児と経験

してきた先輩社員に良いアドバイスをもらったりとコミュニケーションを取り合える環境が自然とできています。

また、交流の場として若者の会(40歳以下)や男女別のメンタルヘルスの窓口を設けて、育児やそれ以外のことでも話せる機会を作っています。今後も仕事には妥協を許さず、家庭は大切にしていけるメリハリのある職場環境を作っていきたいと思っています。



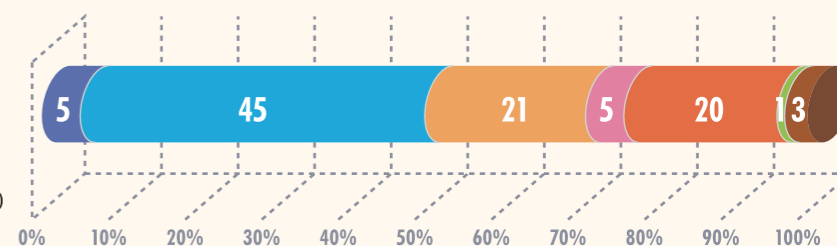
この企業の子宝率
1.94

ポイントは「ココ！」

- 1 職場復帰後、業務での配置に対するフォロー
職場復帰後、融通の利きやすいポジションで働くことができる。
- 2 何でも話せて、相談できる機会の充実
社員同士の交流や男女別のメンタルヘルスの窓口を設けている。
- 3 学校行事や私用などで休暇を取得しやすい
社員同士で仕事をカバーし合う体制が整っている。

前田さんのライフワーク・バランス

- 学んでいる自分 (スキルアップの習い事、独学)
- 家事をする自分 (炊事・洗濯・掃除等の家事の時間)
- 父(子育て等)の自分 (子育ての時間)
- 社会の一員としての自分 (ボランティア・地域活動の時間)
- 仕事をする自分 (仕事をしている時間)
- 夫の自分 (夫婦で買い物、散歩などの時間)
- 余暇を楽しむ自分 (一人で散歩・ショッピングなどの時間)
- 娘・息子としての自分 (息子・娘として家の手伝いの時間)



※ライフワークバランス…一週間の生活の中の「自分の姿」を平均的にみた構成割合です。

あつみ 監修者 渥美さんのコメント

仕事に厳しく、社員に優しい社長の姿勢があるからこそ、社員も仕事で貢献している。